

滋賀県における有害化学物質問題と NGOの取り組み

中地 重晴

びわ湖リスクコミュニケーションネットワーク

びわ湖リスクコミュニケーションネットワーク について

- ❖ 膳所高校の同級生の呼びかけで設立
- ❖ 様々な職業人が参加－異業種交流の場
- ❖ 昨年、NPO法人化
- ❖ 活動内容－不定期に学習会・交流会を開催
- ❖ テーマは環境問題とリスクコミュニケーションについて
- ❖ 実践的な活動はこれからの課題

環境監視研究所とは

- 1988年3月設立
- 市民が信頼して依頼できるラボ(分析室)をめざす
- 市民と協同して調査研究を実施ー淀川水系の水質を調べる会、被災地のアスベスト対策を考えるネットワーク、たべものの放射能をはかる会、止めよう！ダイオキシン汚染関西ネットワーク、有害化学物質削減ネットワーク
- 朝日新聞「第3回明日への環境賞」受賞

環境監視研究所の活動内容

- 市民の依頼に応じて必要な水質、大気、土壌等の分析を行なう。
- 市民運動と連携して、調査、研究を行なう。
- 環境問題についての情報を提供する。
- 一会報「環境監視」(隔月刊84号まで発行)
- 市民に対する環境教育を行なう。
- コンサルティング、相談に応じる。
- 一医者、弁護士、マスコミなど

関西におけるホットな化学物質問題

- 大阪府豊能郡美化センターダイオキシン汚染－汚染土壌の処理及び高濃度汚染物の保管、処理
- 和歌山県橋本市日本工業所－ダイオキシン類対策特別措置法による地域指定を受け、汚染土壌の処理
- 大阪市PCB処理施設の建設計画などPCBの処理に関する問題

滋賀県における化学物質問題(1)ー 水上バイク問題とMTBE

- 90年代琵琶湖、淀川河口、長良川など各地で、水上バイクの走行が問題にー騒音、釣り人・遊泳者との事故など
- 環境問題としてーVOC(揮発性有機化合物)の排出、MTBE(メチルターシャルブチルエーテル)添加ハイオクガソリンの使用が問題に
- アメリカではEPAが水質基準を勧告、汚染も確認されているー主にガソリンスタンド周辺
- 日本ではMTBEは石油業界が自主規制、昨年度末で生産中止

琵琶湖水中のMTBE濃度

滋賀県の市民グループの共同調査(2001年6月17日採水)

試料名	採水場所	採水時間	活動の有無	MTBE濃度($\mu\text{g/l}$)
A	彦根市	6:30	前	<1.0
B	彦根市	15:00	後	9.4
C	能登川町	7:30	前	1.6
D	能登川町	16:00	後	12

1999年夏 新海浜の光景

彦根市市営水泳場付近



水泳場東側（強風時）



重機による水上バイク搬入



轍だらけの砂浜



浜に置かれた PC 板



水泳場に侵入した水上バイク



今後の課題－MTBEの教訓

- ☞ 水上バイク問題として
- ☞ ①VOC、PAHs(ベンツピレンなどの多環芳香族)の汚染問題は残る。特に水道原水との関係
- ☞ ②レジャーとしてのマナーの改善
- ☞ 未規制化学物質への環境影響について—どう調査するのか、どの項目をスクリーニングするのか、ルール作り。

滋賀県における化学物質問題(2)ー

栗東市RDエンジニアリングの環境汚染

- ❖ 問題の発端
- ❖ 98年6月ガス化溶融炉の設置許可
- ❖ 問題の経過
- ❖ 79年安定型最終処分場許可、操業開始
- ❖ 86年小型焼却炉設置
- ❖ 93年医療系廃棄物焼却
- ❖ 95年ばいじん飛散事故
- ❖ 99年10月悪臭発生高濃度硫化水素検出
- ❖ 00年7月表層ガスから22000ppm検出
- ❖ 硫化水素調査委員会による原因究明
- ❖ 01年5月ボーリング調査等の報告書発表
- ❖ 02年県が措置命令

RD処分場全景(01年1月撮影)



RD処分場の環境汚染と原因

- ❖ 高濃度の硫化水素の発生
- ❖ 硫化水素発生原因明確に特定できず
- ❖ 不適正処理の実態把握が不十分
- ❖ ボーリング調査によって浸出水による地下水汚染が確認された
- ❖ 無許可で処分場内を掘削、廃棄物を投棄したことが地下水汚染の原因、原状修復の必要性
- ❖ 地下水から検出されたダイオキシン類の排出源が不明など

問題解決のために必要なこと

- 特徴：①訴訟、公害調停などの法的手段によらず、協議で進められている。
- ②解決は住民と県（または市）との協議で進められている。
- 課題：①業者、住民、県による協議ができるのか。
- ②調査委員会（県と市）の一本化による総合的な対策（解決案）の提案
- ③住民と県、市の円滑なリスクコミュニケーションの実施

ご清聴ありがとうございます

